

【別紙】

一般社団法人 日本ボクシング連盟 令和3年度 第6回理事会別添資料
2021.12.28 (火) 21:00～:23:08

会長挨拶：年末のお忙しい時期と時間にご参加くださりありがとうございます。
最後までよろしく願いいたします。

1 議事の経過の要領及び議案審議の結果

1) 決議事項

1. 来年度以降のマスボクシング大会の開催に関して

仲間専務理事：まだ今年度の決算は終わっていないが、方向性を決めたい。

菊池理事：社会人選手権と女子ジュニア大会が国体プレ大会となり、そのローテーションでは次回は東北ブロックとなっていた。

仲間専務理事：ブロックのローテーションを継続し、次年度は東北ブロックとなるが如何か。

坂巻議長：次年度のマスボクシング大会は東北ブロックにお願いすることに反対の方は挙手をお願いします。(反対意見なし)

2. 来年度の全日本女子ジュニア・全日本社会人選手権開催に関して

仲間専務理事：国体プレ大会となるが来年度の鹿児島県はプレ大会として全日本選手権を開催している。また、その翌年の佐賀国体はボクシング競技が行われないためプレ大会としての予算が計上できない。2年連続宙に浮くことになる。

豊田事務局長：連盟がすべての予算を計上するという理解でよろしいか。

仲間専務理事：開催の可否も含め、連盟で対応しないといけないというレベルの話になると思う。

豊田事務局長：助成申請がギリギリになるので早めに詰めていく必要がある。

浅村理事：男女の合宿でお世話になっている紋別市や福井県に打診はしている、福井県では来年度は厳しいが再来年度はというお願いをしている。紋別市は予算等の関係等もあるがお願いをしている段階ではある。

安川理事：日連主催大会は国体のプレ大会に依存しなくても実施できる体制を作る必要がある。

仲間専務理事：今回は議決できる内容ではないので情報共有ということでお願いしたい。
また、紋別市の返事がわかれば共有をお願いしたい。

3. 新階級の採用について

仲間専務理事：IBAの新階級を全日本選手権と社会人選手権で採用することについてご意見をいただきたい。

後藤理事：女子も全日本選手権では新階級を採用したい。

仲間専務理事：階級が増えると試合数も増えるのでそこをクリアする必要がある。

中村理事：13階級あるがライトヘビーまでの10階級の実施ではどうか。

次年度の全日本は1日多く日程を確保しているが、日連推薦を各階級2名以内にする等の調整が必要になる。

吉沼理事：リーグ戦は大会によって階級を決めるということになるのか。国体ブロックと全日本予選を兼ねているブロックは調整が必要になる。

山本理事：高校生の導入は考えていないのか。

仲間専務理事：強化委員会からはエリートしか上がっていない。インターハイ等ではさらに試合時

間等が問題となるかと思う。

中村理事：高体連は参加人数等の問題があり厳しい。女子のオープン競技も検討している。

山本理事：成年は国体も導入するのか。

仲間専務理事：全日本選手権と社会人選手権のみです。

吉沼理事：すでに栃木国体は始まっているので今からの階級変更はありえない。

坂巻議長：全日本選手権（男女）と社会人選手権は IBA に準じて階級を変更するが、実施階級については大会ごとに検討するというので反対の方は挙手をお願いします。

(反対意見なし)

4. コンプライアンス委員会規則案に関して

仲間専務理事：コンプライアンス委員会規程の制定についてご意見があればお願いしたい。

(質疑なし)

坂巻議長：コンプライアンス委員会規程について反対の方は挙手をお願いします。

(反対意見なし)

5. 来年度のコーチ設置事業担当者選任に関する考え方に関して

仲間専務理事：JOC の予算が減る可能性があるのでアシスタントナショナルコーチは推薦しない。

今回は具体的な提案はできないので報告という事になるがご意見があればお願いしたい。(質疑なし)

6. 加盟団体規定設定に先立つ、加盟団体実態調査について

富岡マネ：NF が加盟団体の実態調査を行うことについて審議をお願いしたい。

(質疑なし)

坂巻議長：実態調査を行うことに反対の方は挙手をお願いします。

(反対意見なし)

7. 次期役員選任候補者に関する選考について（役員候補者選考委員会設置について）

仲間専務理事：次期役員を選任するにあたり、ガバナンスコードに適合するために女性 1 名を含む第三者を中心とした役員候補者選考委員会を設置するための規程を提案する。選考基準にアスリート委員会の委員長を含むという項目があるので規則の変更も行う必要がある。

吉沼理事：社員を正会員に訂正をお願いします。

佐藤理事：素案はどこで作成するのか。

仲間専務理事：コンプライアンス委員会で案を出して理事会の承認を得ることになると思う。推薦があればお願いしたい。

井崎理事：これは選考委員会の人選についての議論なのか。

仲間専務理事：規程の議論です。

井崎理事：第 4 条に 8 項目あるが、それは誰が決めるのか。

仲間専務理事：女性や外部理事について公募も考えている。女性理事を 20% 確保するためには全体の数を減らすことも必要になる。

井崎理事：今後の連盟の発展のためには、偏りがないように外部の経営者等を入れていく必要がある。

仲間専務理事：外部理事 25% も積極的に取り組む必要がある。

井崎理事：ボクシング競技がマイナー競技であるという危機感を持った人材が必要。

豊田事務局長：この規則を基に偏りがないように推薦していきながら理事会に諮っていきたい。

坂巻議長：役員候補者選考方法等に関する規程の設置について反対の方は挙手をお願いします。
(反対意見なし)

8. 次回理事会日程に関して

仲間専務理事：今回からは次回の日程までを決めて理事会を終了したいと考えている。

一部の理事から 21 時は遅すぎるといった意見もいただいているが、次回は 2 月 26 日で仮の提案をしているがご意見をいただきたい。

中村理事：土日の日中は試合等があるので避けてもらいたい。

佐藤理事：21 時が遅いのであれば夕刻（19 時等）からではどうか。

井崎理事：21 時がダメな理由は。

仲間専務理事：遅くてきつい事と他の競技団体ではそのような時間にはやっていないとの事。

井崎理事：それぞれ仕事等もあるので、多くの人が集まれる日程調整が必要ではないか。

菊池理事：私は仕事の関係から 21 時からお願いしたい。

吉沼理事：現状の理事が集まれる最適な時間を模索する必要がある。役員改選後は状況が変化
する可能性もある。その都度決めれば良いのではないか。

豊田事務局長：2 月末には臨時総会を開催する必要があるが日程的には大丈夫か。

菊池理事：2 月と 6 月の総会に関する理事会は土日の日中などしっかりと時間をとる必要がある。
2 月には次年度の計画等を審議する必要もある。

豊田事務局長：総会に向けての理事会は逆算して日程調整を行う必要がある。

例年では 2 月の終わりに臨時総会を行い予算の決定している。

仲間専務理事：2 月の臨時総会の日程を決めて再提案します。

2) 審議・報告事項

9. ダスキンの契約に関して

仲間専務理事：ダスキンの契約については書面決議をいただいているが、確認のため報告する。

ダスキンの 100 万円の寄付をいただくことにより、各持ち回りの全国大会においては、ダスキンの見積もりを取ることをお願いする。決して契約を行うという
意味ではない。契約の有無については実行委員会の判断に任せる。「ダスキンの協賛」
についての文書を各都道府県連盟に発送するが、見積もりを取ることと、契約
の判断について確認すること。

10. 令和 4 年度スポーツ指導者海外研修事業での派遣について

仲間専務理事：成松氏を JOC 研修員候補者として、「令和 4 年度スポーツ指導者海外研修事業」を使
い研修に参加していただくことを考えている。大きい金額が関係しているので、本
来であれば理事会で審議、議決が必要であるが、突然な話、日程的な都合もあり、
成松氏の所属長にも参加の許可もいただいたうえで進めている。理事会の決議を取
らずに進めていることをご理解いただきたい。

11. グランドプロジェクトの進捗について

内田会長：グランドプロジェクトの進捗について説明します。

まずはシステムを開発している会社のビデオを見てください。（動画視聴）会社名は
「LAB」で、VR 関係では日本トップクラスの会社である。

スポーツ、生涯スポーツの解析に力を入れている。

次はどういった開発をしているかビデオを見てください。(動画視聴)

業務用としてはすでにスポーツジム、カラオケボックスから注文を受けている。鏡の中にトレーナーが出てきて指導してくれます。時計で多種類の体の状態をリサーチして、その時の状態に合わせたトレーニングができます。

一般用はアプリを販売して、テレビのモニターにとぼして、AIがトレーニングメニューを選択し、その人のその日の状態に合わせたトレーニングメニューを選択するシステムである。すでに業務用は完成してモニタリングの段階に進んでいる。一般用の販売は価格設定中ですが、2000円から3000円で考えている。他の販売実績と比較すると3000円はちょっと高いと感じている。

200万人の販売実績でヒット商品と考えるが、月2000円の価格設定で100万人に販売出来たら、月で20億前後の売り上げが見込まれる。

最初の6～8か月では到達できないと予想するが、最後の9段階目のシステムに到達したときに達成したいと考えている。

現在の5段階目のシステムのデモ画像をご覧ください。(動画視聴) 菊池先生に1分間対戦してもらいました。本来は3分間です。たった1分間でも菊池先生は汗をかいていました。アプリを購入した方は、一日に何回でも対戦できます。

最後の9段階目のシステム設計は完了している。人と人とが対戦できるようにしたい。対戦相手は100名以上用意する予定である。来年4月には販売を開始したいと考えている。投資10%～20%の利回りで、プロボクシング協会に3～5%の寄付を考えている。AIBAからの推薦も取り付けている。

利益の10～20%を日本連盟に寄付、50%程度を開発費、残りは各全国大会開催地や体の身体の不自由な人の団体への寄付を行うような運用を考えている。出来上がり次第報告する。

12. 広報戦略委員会からの報告事項

本日は、報告なし。

13. その他

①2021年度ミズノスポーツメントール賞について(仲間専務理事)

仲間専務理事：競技スポーツ、スポーツ医、科学、生涯スポーツなどの分野で活躍している優秀な指導者を顕彰する制度である。ボクシング連盟からも誰か推薦したい。後日、ラインで推薦者を出してもらい書面決議によって決めたい。情報共有よろしくお願いします。

②女子世界選手権代表について(後藤理事)

後藤理事：女子の世界選手権大会代表選手は9月に選考会を行い決定している。しかし、12月開催予定が2022年5月に延期されたことにより、その間、全日本選手権大会の実績なども踏まえ、このままの代表でいいのか？という意見も出てきている。女子強化委員会でも意見が分かれている。理事会に提案してご意見をいただきたい。

菊池理事：女子世界選手権大会の選考会は済んでいる。選考された代表選手を出すべき。

安川理事：菊池理事に賛成である。今後このようなケースが出てきた事を考え規程を作成するべきである。

菊池理事：女子の世界選手権大会について豊田事務局長に質問がある。女子の世界選手権大会が2022年5月に延期されると来年度は女子世界選手権大会が、同じ年度に2回

開催されることになる。費用面などがどうなるか？現時点のお考えを聞きたい。

豊田事務局長：基本的にそのことをどうするかはJOCの判断になる。今年度使用しなかったのも、来年度多くなるということはない。今年度の成績を考慮してくれると思う。先日のJOCのヒアリングの感じでは、大きく予算が落ちることはないと考える。配分された予算の中で、女子の世界選手権大会が2回あるということを考え、多めに割り振っていくかどうかを決める必要がある。

仲間専務理事：女子世界選手権代表についても、後日書面決議をする。

③(株)ウイニングからの申し出について（菊池理事）

菊池理事：全日本選手権大会の時にウイニング（杉林社長）から、UJのグローブの廃止とアディダス、タイサンと同じく公認の参加の申し出があった。ウイニングには日本連盟のスポンサーとして協力して貰っている。後日ウイニングから正式な文書での申し出があれば理事会での審議、議決が必要になる。本日は情報共有として報告する。タイザン→タイサンの方が正しいので確認をお願いします。

④アンチ・ドーピング規程（仲間専務理事）

仲間専務理事：アンチ・ドーピング規定について、後日書面決議をする。

⑤ネクストシンボルアスリートの継続について（仲間専務理事）

仲間専務理事：ネクストシンボルアスリートを篠原光選手で継続を提案する。
後日書面決議をする。

⑥スポーツ科学委員会規則修正案について（富岡マネ）

富岡マネ：スポーツ科学委員会規則修正案についても、6月にあがっている。書面決議をお願いしたい。

仲間専務理事：他の決議と合わせて書面決議をする。

⑦NHKとの関係について（中島理事）

中島理事：全日本選手権大会においてNHKからフジテレビ、ライブ配信などに移行することについて、責任を持って行うということであったが、結果について総括的に伺いたい。

井崎理事：数字ではまだ確認できていないので感覚的な報告でよろしいか？

NHKは決勝戦のみの放映であったが、1回戦から決勝戦までライブ配信を行った。スポーツナビを使用したことにより視聴数は向上したと考える。著作権、映像の権利がとれたことは、今後の日本連盟の運営を考えてもメリットがある。フジテレビで放送がされたことにより、見直し配信（ティバー、ギャオ等）で全国の配信で視聴できることに意味があった。単純な比較はできないがメリットは大きいと考える。

菊池理事：井崎理事の報告は、これまでラインなどを通して、全員で議論してきたことである。NHKから移行した決断は重い内容であるが、全員で決めたことであるので前に進むという共通認識を皆様をお願いします。

以上